

令和元年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	未踏分子ナノカーボンの創製
研究代表者	伊丹 健一郎 (名古屋大学・理学研究科(WPI)・教授)
研究期間	令和元年度～令和5年度
科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見	<p>本研究は、sp^2炭素のみで構成されたチューブあるいはシート状の一連の炭素化合物「ナノカーボン」を、独自の反応により選択的に合成することによって、その機能を解明しようとするものである。</p> <p>カーボンナノチューブやグラフェンを超えるナノカーボン分子の選択的合成を目指す意欲的で挑戦的な計画であり、新反応、新触媒の開拓とともに、新しい炭素科学の学術と新たな炭素材料の創出も期待される。</p>